

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月6日

【評価実施概要】

事業所番号	1292700042		
法人名	医療法人社団 創造会		
事業所名	グループホーム寿		
所在地	千葉県我孫子市寿2-16-5 (電 話) 04-7179-6600		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	2007/5/31	評価確定日	2007/6/13

【情報提供票より】(19年5月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 18年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	17 人	常勤7人, 非常勤10人, 常勤換算13.9人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	70,000 円		その他の経費（月額）	15,000 円	
敷 金	有（ 円）		（ 無）		
保証金の有無 （入居一時金含む）	有（ 300,000 円） 無		有りの場合 償却の有無		（有） / 無
食材料費	朝食	350 円	昼食	350 円	
	夕食	600 円	おやつ	200 円	
	または1日当たり 1,500 円				

(4) 利用者の概要 (月 日現在)

利用者人数		9 名		男性 0 名		女性 9 名	
要介護 1		3		要介護 2		2	
要介護 3		4		要介護 4		0	
要介護 5		0		要支援 2		0	
年齢	平均 84 歳		最低 69 歳		最高 95 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 創造会 平和台病院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

我孫子駅からバスで7分ほどにある「グループホーム寿」は、手賀沼にほど近く、竹林に囲まれた閑静な住宅外の一角にある。庭には季節の花や植木などが植えられており、建物の壁面のかわいらしい音符が目につく。市の介護予防の拠点にもなっている当事業所は、小規模多機能型介護施設が併設されており、常に行き来ができ、お互いに交流が図られている姿は利用者にとって便利であり、設備面でも充実そのものである。利用者が、自分らしく生き生きとした生活が過ごせる様に、外出の機会を設けるなどの気晴らしの支援や、地域の自治会にも活発に参加しており、施設サイドの創意工夫が感じられる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 地域の自治会・行事・その他の活動に積極的に参加し、施設のことを知ってもらおう努力をしている。職員には評価に対する意義を、職員会議・ミカファレンス等で説明し、理解度を深め、業務改善に生かす取り組みしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 市職員・家族会代表・自治会長・民生委員等を招き、利用者の意向・家族の意向・サービス内容の報告し、意見交換をしている。今後は、利用者家族や関係機関の方等の多数の参加を促し、より良いサービスの向けての話し合う機会を設けたいと考えている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 意見箱を玄関に設置し、ご家族・利用者の意見を頂くようにしている。ご家族とは来訪時や電話で、利用者の暮らしぶりの報告・意見の交換をやり取りし、その内容を担当者会議・施設の全体議等に反映させ、サービス向上に役立てている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の自治会に入会し、お祭り・ごみゼロ運動・奉仕活動などの行事に積極的に参加する様にしている。地元の方達や利用者のお友達にも気軽に立ち寄って頂ける様、挨拶や声かけをしている。 市内の同業者とは連絡会にて、施設の実状・情報共有や意見交換、市への要望等を話し合い連携を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が自分らしく生き生きをした生活を支援し、地域に密着した居心地の良い広場を目指した理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を毎朝職員全員で唱和し確認し理解努めている。玄関先やミーティング場所にも掲示して、家族や他の方にも理解して頂ける様努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入会し、お祭りやごみゼロ運動など地域の活動に参加している。ご近所や利用者のお友達にも立ち寄って貰えるよう挨拶や声掛けをして、家庭的な雰囲気心をかけている。	○	更なる地元交流や地域活動の参加の活性に期待致します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員には評価に対する意義を、職員会議・ミカファレンス等で説明し、理解度を深め、業務改善に生かす取り組みしている。		

グループホーム寿 [千葉県]

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一度”地域の方と共に”との考えのもと、市・家族会の代表・自治会長・民生委員・介護支援課・法人関係者を招き、サービス改善を盛り込んだ運営協議会が行われている。今後は家族の方・関係する機関にさらに参加を求めていると考えている。	○	利用者やその家族を含めた話し合い、意見交換や会議参加への雰囲気作り等を今後、期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護サービス事業連絡会に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。もっと市職員との話す機会を設けたいと考えている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の現況や報告は、広報誌の配布・来所時や電話などにより連絡をとっており、家族の理解と協力を得ている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。何件かご意見があり、その内容を担当者会議で話し合い、すぐに対応できるようにしている。また、運営推進会議・家族会・来所時に意見を頂く様にもしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在、ほとんどいない。異動は最小限に抑え、代わる場合もダメージを少なくする様な配慮をしている。		

グループホーム寿 [千葉県]

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は参加するように促している。外部研修なども個々の希望にあわせ積極的に行い、職員の育成に努めている。	○	職員の個々の介護レベルを一定時期ごとに見極め、その職員に適したスキルアップを図られることを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内業者が発足している、連絡協議会にて他の施設との意見交換などを通し、交流を図っている。また、講師を呼んで勉強会を開くなどサービスの向上にも取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	一日通いの体験入所・見学など実施し、本人が安心して馴染める様な家族と相談しながら対応している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で共に喜び、職員が学ばせていただいているという謙虚な姿勢で支えあう関係を築く様努めている。		

グループホーム寿 [千葉県]

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	これまでの生活暦を理解し、入居者・家族から聞き取りを行い、意思の把握に努めている。また、定期的に話し合いの場を設けたりもしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	会話の中から個々のニーズを読み取り、入居者・家族・個別担当者で話し合いながら計画の作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画作成者・個別担当者を中心に、入所者・家族と話し合い、状態の変化に応じ見直しがされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じるサービス（お買い物・理美容・外出や送迎）を提供できるようにしている。また、利用者の状況に応じ、小規模多機能施設と行き来できるようにしている。		

グループホーム寿 [千葉県]

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には利用者・家族の要望先の医療機関で受診・通院をご家族が付添う形で行ってもらっている。また、事業所内の利用者の状況を主治医に報告して、適切な治療が受けられるような支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルについては、入所者・家族の意向を聞き、医師とも相談し合同で話し合いをしている。全員で方針を共有し最善の方法を選択している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの説明は入所時に説明しており、同意を頂いている。個人情報の取扱いには十分気を付け、徹底された取り組みがされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意思を尊重し、施設で新聞を取ってみれるような、日常と変わらないその人らしい豊かな生活ができる柔軟な姿勢である。		

グループホーム寿 [千葉県]

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養のバランスを考え、食材の宅配サービスを使って調理している。個々の力量にあわせ、準備・片付けなどは共同で行われている。職員と利用者が一緒にテーブルを囲み、食事ができる様に雰囲気づくりがされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯は入居者の希望に沿い、声掛けなどにも工夫し、入浴ができる様に支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理・準備・片付け・洗濯など個々の状態に合わせた役割を持ち、助け合っている。カサやレクリエーションなどを行ったり、散歩や買い物などの外出を行っている。毎月の外食会や買い物ツアーなども行い、気晴らしの支援も行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じ、買い物や散歩ができる様に支援がされている。月に一度は外食会や買い物ツアーを開くなど、気分転換を図ったりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵は設置されているが、職員が鍵をかける事はない。玄関は安全上、外からは自動で開くようになっているが、中から出るときは暗証番号がないと開かない様になっている。		

グループホーム寿 [千葉県]

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	総合消防訓練を年2回、通報訓練を年4回行っており、消防指導による消火訓練も実施している。非常持出し袋も用意されており、非常時の協力体制についても、地域の方の協力が得られる様に、自治会と話し合っている。	○	地域の方に防災訓練に参加していただき、さらに安全への対策がなされるよう期待します。又、災害時の備蓄の量を検討し、数日分の確保をされることを望みます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材は業者にお申し、バランスのとれた食事がなされている。水分量や摂取量もきちんと記録がされ、栄養管理士の資格を持つ職員により、管理がされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は明るい色で統一され、写真・絵などの掲示がされており、敷地内で育てられた花を飾るなど雰囲気づくりがされている。トイレはまめに掃除がされ、においなどにも配慮がされている。お風呂は手すりが多く設置され、安全への対策がなれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者・家族との相談により、使い慣れた家具・馴染みの食器・好きな鉢植えなどが持ち込めるようにしている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。